

# ふくしの森ステーションみすぎだより

令和3年9月号No.13

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。



日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。また、ボランティア活動に関する相談にもお応えします。



## 9月から担当が変わります！

松本と一緒に地区を担当していた千野が、8月末から産休に入ることになりました。そこで、代替りの職員が新しく担当になりますのでよろしくお願いいたします！



新CSW：野田 剛  
年齢：もうすぐ50代  
抱負：すぐやる！すぐ動く！楽しくやる！！



産休に入る千野に代わり、加治東、加治、美杉台を担当する野田です。飯能中央、第二区との兼務となりますので、ご迷惑をおかけするかもしれません。何かお困りごとや地域活動についてのご相談がありましたら、お気軽にご連絡いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

社協に入職し3年で異動となり、地区担当となって丸2年が経ちました。わからないことだらけで地区担当になりましたが地域の皆さんのおかげで今まで務めることができました。産休、育休を経て復帰した際にはまた頑張っていきたいと思いますので、その際にはよろしくお願いいたします！



千野より

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだより  
(美杉台地区行政センター内)  
(原則火～金曜日 9:15～16:15 在室)

TEL 070-7792-2426 FAX 050-3156-2236

Eメール [station-misugidai@hannosyakyo.or.jp](mailto:station-misugidai@hannosyakyo.or.jp)

※担当者が不在の場合、電話は飯能市社会福祉協議会事務局（総合福祉センター内）へ転送されます。

# 地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

今回は、ママたちの交流の場、子どもたちの遊び場として自宅を開放している親子サロン「うさぎ組」を1歳の息子と一緒に取材してきました。

## 活動を始めようとしたとき、社協のCSWが親身に話を聞いてくれました

親子サロン「うさぎ組」は、市内茜台に開室をして6年目を迎えました。

保育士時代から温めてきた「自宅を開放して、お母さんや子どもたちと一緒に築いていく楽しい親子サロンをつくりたい」という想い。

そんな想いを実現できたきっかけは、ご近所の方々のお力添えと、なにより社協のCSWとの出会いです。

そして、2018年には地域福祉推進組織「あさひやまライフネット」とつながり、今年度は保育用備品購入の支援を受け、活動しています。

## ママ(パパ)が誰かと話したいとき、つらいときにもふらっと遊びに来てもらえれば

「ママ(パパ)たちにとってのお母さん、子どもたちにとってのばあばのような存在になりたい」、「自分も無理せず、「良い一日だった」と笑って過ごしたい」と語る櫻井さん。

最近では、旦那さんが消毒等の担当、娘さんがSNSの担当など、家族の支えも受けながら活動されています。

ぜひ「うさぎ組」で櫻井さんや集まった親子と一緒に豊かな時間を過ごしませんか!



↑インタビューの間も、ボールプールに夢中。砂場遊びや季節の遊び(水遊び等)もできます。



↑未就園の息子が年の近いお友だちと遊ぶという、コロナ禍では得難い貴重な経験ができました。

## 親子サロン「うさぎ組」の情報

住 所: 飯能市茜台1-2-12

開室日: 月・木・金10:00~15:30

土 10:00~12:00

対 象: 0歳~おおむね就園前のお子さんご家族

※開室日の詳細や持ち物、参加費等についてはお問合せください。しばらくの間、土曜日はお休みしています。

問合せ: ☎070-4223-8779

✉usagigumi1212@gmail.com



参加希望の方はLINEから予約をお願いします。



LINE公式アカウント



Instagram